

大会規則

1. トーナメント方式とし、各試合7イニングスとする。
2. 使用球は、公認球B号ボールとする。
3. 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差のとき適用する。
4. 日没、降雨等で試合続行不可能と審判団が判断したときは、5回で試合成立。
また、5回以前の時は継続試合とする。
5. 雨天順延を原則とする。(小雨決行)
6. 試合は1時間30分とする。1時間30分を越えて新しいイニングには入らない。
(ただし、決勝戦は除く) この場合においては5回以前でも試合は成立するものとする。
1・2回戦は同点の場合、特別延長戦を適用する。
〔特別延長戦〕同点で7回終了時あるいは制限時間となった場合は、継続打順で前回の最後打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者として、無死満塁の状態にして行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決するまで行う。
7. ベンチの入場については、部長、監督、コーチ以外の大人は当該校の先生でも入ることはできない。
8. 第1試合を行うチームは、試合開始予定の1時間前までに試合会場に到着すること。
9. 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始予定時刻の40分前とする。第2試合以降は、前試合の4回終了時とする。各チームの主将はメンバー用紙を4枚持って、本部席へ来ること。(事情により監督不在の場合は申し出ること。)
10. ベンチは、抽選番号の若い方を一塁側とする。
11. 試合前の打撃練習はフリー、ハーフバッティングを禁止とする。トスバッティングのみとする。
12. シートノックは5分以内とする。但し、前試合が延びている場合、悪天候の場合は省略することがある。
13. 攻守の交換は迅速に行い、先頭打者と次打者とランナーズコーチは速やかに所定の位置につくことイニングの始めてミーティング中でも必ず先につかせるよう指導すること。
14. 次打者またはその代打者(投手といえども)は、必ず次打者席に位置しなければならない。この場合、投手が軸足をプレートについたら必ず低い姿勢をとらなければならない。
15. 無用のタイムは慎み、試合進行に協力すること。
16. マスコットバット、リストバンド、鉄棒、バットリングの使用を禁止する。但し、テーピングは肌色等に着色したものとする。手袋は、白、黒で無地のものとする。
17. 打者はみだりに打者席をはずしたりしてはならない。監督よりのサインを見るために打者席をはずしてはならない。打者席内で見よう指導すること。
18. 突発事故が起きて一時走者を代えたいときは球審に申し出て、審判団が必要と認めたときは、これを許可する。
19. 審判の判定についてはアピールすることができるのは、監督、主将、当該プレーヤーに限る。
20. メガホンは監督のみ使用できる。
21. 選手交替の申し出は監督が行う。
22. 監督は、選手と同じユニホームを着用する事。
23. 野次は慎むこと。素晴らしいプレーには敵味方なく拍手を送りたい。
24. 打者、走者、次打者、ベースコーチは公認マーク入りのイヤラップのついたヘルメットを着用すること。
25. 捕手は、公認マーク入りのマスク(スロートガード付き)、ヘルメット、プロテクター及びレガース、ファールカップを着用すること。
26. 試合終了後の挨拶ですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあけること。

【その他の申し合わせ事項】

1. 選手の頭髪、身なり等は中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合の前後においてもスポーツマンらしく、マナーには十分注意すること。
2. 応援者のマナーには十分注意すること。
応援者は太鼓、ペットボトル、笛は不可とする。（メガホンは叩かないこと。）
3. 各会場においては弁当、ジュースの空缶等の後始末は当該チームにてきちんを行うこと。
4. 試合終了時に当該チームは、ベンチの清掃、グラウンドの整備等に協力すること。
5. 試合を行うチームは補助員として、一塁側チームからはボールボーイを、三塁側チームからは、SBO記録員でそれぞれ2名程度出すこと。
6. 投球練習を受ける捕手については、マスク（スロートガード付き）を着用する事。ファールカップも着用することが望ましい。（ブルペンでも同様とする）
7. 投手の投球回数は7イニング迄とする。但し、延長時は投手の投球回数は考慮しないこととする。